

別表第1（第5条関係）

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	田 沢 湖 図 書 館 管 理 運 営 費										
担 当 課 係 名	田 沢 湖 図 書 館		課	-		係	作成者	船 山 睦			
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱		明日の担う人材を育む教育文化のまち					総合計画の ページ			
	基本計画		生涯学習の推進と社会教育施設の整備								
	主要施策		社会教育施設の充実					96			
予 算 費 目	一般		会計	10 款	教育費	5 項		社会教育費	3 目	図書館費	
事 業 期 間	平成				年度 ~ 平成		年度		新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理										
根 拠 法 令 等	図書館法、図書館法施行令、図書館法施行規則										
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務										
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助										

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民(市外者含む)
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	利用者のニーズにあわせた環境づくり(配置等)、他館とのネットワークを活用して地域に密着した図書館を目指したい。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	文化・教養・調査・娯楽等に役立つ資料等の収集および利用者の日常生活に役立つ圖書の収集を図りたい。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	開館日数	目標	日	283	283	283	
			実績	日	283	283	283	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	利用者数	目標	人	11,000	11,000	11,000	
			実績	人	11,450	11,555	11,856	
			達成度	%	104.1%	105.0%	107.8%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				4,938	4,372	4,406	
	人 件 費 (B)		—		23,559	24,213	15,850	
	職 員 数		—		3.00	3.00	2.00	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				28,497	28,585	20,256	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				28,497	28,585	20,256
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		100,696	101,007	71,576	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		894	909	652	

【事務事業の今までの成果】

リクエストのあったものは、可能な限り購入し利用者のサービスに努めている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	秋田県立図書館は利用率の向上を目指して、各市町村立図書館の支援を行っている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	開館時間の延長。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	地元書店が事実上休止状態の中で市民の文化的要求に応えるため。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

早期、図書館システムの導入により、1枚のカード（貸出券）で角館・田沢湖両図書館での資料の借用を図り、両図書館がそれぞれの役割を分担しながらレファレンスを含む住民サービスに努める。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	利用者に対するサービス向上や、学習資料館との連携強化、委託業務の拡大を含めた効率的な管理運営の確保を目指して改善を図りながら、継続すべきと考えます。

一次評価診断図

